

地理 活動例 A 「世界の国々の位置・名称」

(1) 学習単元と具体的な内容

<p>学習単元：内容（1）ア（イ）</p> <p>○世界の地域区分と国々の位置・名称</p> <p>具体的な学習内容</p> <p>○国々の名称・位置・形 ①主な国の国名 ②主な国の位置・形</p>

地図を使って世界の主な国々の位置、母国と日本の位置関係を調べる活動などを中心に組み立て、今後の地理学習に取り組むための基礎的な力を高めるための重要な学習内容である。

(2) 目標

①社会科としての目標

- ・地球儀や世界地図を活用して、主な国や日本の近隣の国々の位置と形を確認し、地名を日本語で表記し、位置を日本語で説明できるようにさせる。

②身に付けさせたいスキル

- ・世界地図で主な国々の位置を確認するスキル。
- ・統計資料から適切な情報を探し出すスキル。

③身に付けさせたい日本語のスキル

- ・必要に応じて、世界の国々の名称を日本語で正しく発音したり表記したりするスキル。
(特にカタカナ・漢字の表記について意識化させる。)

(3) 対象とする生徒のイメージ

経験知識	母国で地図帳の使用経験があり、世界の国々についての基礎知識がある。
日本語の力	日常会話がすこしでき、ひらがな、カタカナの読み書きができる。初級レベルの基本的な文型を利用して表現ができる。日本語で数字を読んだり数えたりできる。

(4) 学習の流れと参加支援の例（全体の時間数 4 時間程度）

	在籍学級における学習活動例	学習への参加を促すための支援の例
つかむ	①新聞や旅行パンフレットから国名・地名を抜き出す。	○この活動の前に、知っている国や地域について話し合い、カードなどで表記の仕方を示しておく。
ひろげる	②地図上で主な国々の位置と名称を確認する。 ③面積等から主な国々の特色をとらえる。	○地図から読み取る事柄を確認し、キーワードをカードで示しておく。 ○調べる前に、面積の単位（万 k m ² ）の読み方や統計資料の見方について確認する。
まとめる	④国境線になっているものについて調べる。 ⑤国境線が直線になっている国に着目させ、その理由を話し合う。	○理由に関する簡単な文章を準備し、読み聞かせて、その内容についてやりとりをする。 ○分からない語彙については、辞書（母語の）で調べさせたりしながら理解させる。

発信する	⑥世界の略地図を描く。	○グループ活動とし、仲間と協力して作業を進められるようにする。
------	-------------	---------------------------------

※網掛け:(5)指導案で示す授業

(5) 指導案

①本時の目標: 主な国々の位置と名称をとらえ、面積等からその特色を大まかに知ることができる。

②本時の展開

	学習活動	指導上の留意点、★教材	○日本語支援 (タイプ)
導入	<p>①世界の州と海洋の名称を確認する。</p> <p>②海外旅行のパンフレットから、州・国を探し、地図で位置を確かめる。</p>	<p>・本時の学習の準備として、州と海洋の位置と名称を復習する。</p> <p>・旅行用パンフレットで、世界の地域区分への関心を高める。</p> <p>★世界地図 ★州・海洋名カード ★旅行のパンフレット</p>	<p>○地図帳の字体を手がかりに、州と海洋の名称を探させる。</p> <p>【理解】</p> <p>○州・海洋名をカードにして示す(必要に応じて読み仮名を付す)。【表現】</p>
展開	<p>③日本と自分や友人の出身国の位置を地図上で確認する。(白地図の該当するところに色を塗り、国名を記入する。)</p> <p>④主な国々の面積と人口を調べ、面積の広い国を地図で確認する(5番目まで)。</p> <p>⑤地球儀と地図で面積の広い5か国を確認し、資料の利用方法について話し合う。</p>	<p>・互いの出身国の位置を確認する活動を通して、州と国々の位置関係をとらえさせる。</p> <p>★国名が入った世界の白地図 ★ワークシート1 (前半部分)</p> <p>・主な国々の特色を、面積と人口でとらえさせる。</p> <p>・統計資料の利用方法を理解させる。</p> <p>・白地図に色を塗る作業を通して、国境線を意識させる。</p> <p>★世界各国の統計資料 ★ワークシート2</p> <p>・地球儀と地図(メルカトル図法)上の面積の比較を通して、求める情報に応じて資料の選択が必要であることを確認する。</p> <p>★地球儀、地図(メルカトル図法)</p>	<p>○クイズ形式で各々の出身国を探す活動にする。【理解】</p> <p>○クイズのモデル文と方向を表わす語を示し、利用させる。【表現】</p> <p>○先に予測させ、国名や「面積」ということばを確認する。</p> <p>○読み取り前に、面積の単位や、資料の見方を確認する 【理解・自律】→問いかけ・応答例参照</p> <p>○結果を表と白地図にまとめ、型を利用して発表させる。【表現】</p> <p>○文の型を示して、気付いたことを発表させる。例「地図では、～は～より小さいです。でも、地球儀では、～」【表現】</p>

ま と め	⑥主な国々の位置と名称を、確認する。	・州と国々の位置関係を、地図上で確認する。 ★ワークシート1（後半部分）	○ 主な国のほかに生徒の出身国、発音や表記の容易な国を中心に確認する。 【理解・情意】
-------------	--------------------	---	--

〈キーワード〉世界、面積（万k㎡）、国境、人口（万人）、州、海洋、国名

（6）教材・教具、問いかけ・応答の例

①問いかけ・応答の例

〈資料の読み取り前の、統計資料の見方を確認する学習場面〉

T：（統計資料を示し）これを見てください。何でしょうか。

S：分からない。

T：（日本の欄を示し）ここに「日本」と書いてありますね、次は？

S：中国。ブラジルもある。

T：これは、世界の国のことを、いろいろ調べたものです。統計資料です。（面積の欄を示し）ここには、何が書いてありますか。

S：キロ？メートル？

T：これは、平方キロメートルとよみます。国の大きさ、面積ですよ（「面積」「平方キロメートル」と板書するなどして示す）。では、日本の面積は、だいたい何平方キロメートルですか。

S：だいたい・・・38万平方キロメートル？

T：はい、そうですね。では、他の国の、面積を調べましょう。どの国が一番広いですか。

S：ロシア・・・

T：何万平方キロメートルでしょうねえ。2番目は？3番目は？面積が広い順に5つの国を探してください。そして、ワークシートに（ワークシートを示し）国はこっち、面積はこっちに書いてくださいね。

②教材・教具

1) 地図

○州と海洋の確認する活動で：州名海洋名が入っている世界地図

○出身国を調べる活動で：世界の国々が色分けされた地図

2) 旅行のパンフレット

旅行業者が配布している一般のパンフレット（州や国名を探しやすいもの）

3) 統計資料

各国の面積と人口が記載されているもの

4) 地球儀

5) カタカナ五十音表（必要に応じて）

6) ワークシート2種類

せ かい くに ぐに
世 界 の 国 々

1 私の国、ともだちの国

- ①下の地図を見て、あなたの国に色をぬりましょう。
- ②クイズを作りましょう。

わたしの国は（ モンゴル ）です。
（ アジア ）にあります。
（ 中国 ）の（ 北 ）にあります。
地図でさがしてください。

- ③他の人の国のクイズを聞いて、地図でさがしましょう。
さがしたら、色をぬって、国の名前を書きこんでください。

ここに、
世界の白地図(国境のみが記されているもの)
を入れてください。

2 世界の州と主な国々

- ①世界の六つの州と主な国々です。線で結びましょう。

州の名前

- A オセアニア
- B 北アメリカ
- C アフリカ
- D アジア
- E ヨーロッパ
- F 中・南アメリカ

国の名前

- ・ フランス イタリア ドイツ イギリス
- ・ アルゼンチン ブラジル ペルー メキシコ
- ・ ケニア エジプト 南アフリカ共和国
- ・ カナダ アメリカ合衆国
- ・ オーストラリア ニュージーランド
- ・ インドネシア パキスタン タイ モンゴル

- ②上の地図に、州の記号(A, B, C, D, E, F)を書き入れてください。

せかい くにぐに めんせき じんこう
世界の国々の面積と人口

1 面積が広い国はどこでしょうか。

①面積が広い順に五つ予想して、表に書いてください。

	予想	調べた結果		
	国名	国名	面積	人口
1位				
2位				
3位				
4位				
5位				

②統計資料で面積を調べて、結果を表に書いてください。

③その国の人口も調べて、表に書いてください。

2 調べた結果を発表してください。

面積が（ 番目に） 広い国は（ ）で、（ 平方
キロメートル）です。 人口は（ ）人です。
（ ）は、（ ）にあります。

3 面積が広い五つの国を、地図でさがして色をぬってください。

4 地図で五つの国の面積を比べてください。分かったことを、（ ）に書いてください。

① 地図で見ると（ ）より（ ）のほうが広いです。

でも、実際は（ ）より（ ）のほうが広いです。

② 地図で見ると（ ）。

でも、実際は（ ）。

※面積は地図(メルカトル図法)では調べられません。統計資料等で調べたり、地球儀で確認したりしなければなりません。

